

パッケージのインストールとパッチ

Group 8

1050293 赤松仁

1050364 藤田直幸

1050379 山口恵

1050384 鎗内幹教

通常のプログラム

プログラムは人間の読める「ソースコード」で書かれる

コンパイル

コンピュータが読める「バイナリ」という形に変換

パッケージについて

ソースコードの状態で開催されていることが多い

ユーザがコンパイルする必要があり不便

あらかじめコンパイルされたバイナリと必要なファイルをひとまとめにしておく(パッケージ)

提供されるパッケージの内部

- ソースコード(source code)
 - コンパイラ型言語処理系において、基となるプログラムコード
- バイナリ形式
 - ソースコードをコンパイルして得られる実行形式

提供される形式の違い

- Package-System V Release 4
 - オプションのソフトウェアのインストールを標準化するSVR4の機構
- RPM(Red Hat Package Manager)
 - Red Hat Software社が開発したパッケージ管理ソフトウェア
- SRPM(Source RPM)
 - ソースファイルを格納したRPM

なぜパッチをあてるか

OSをインストールした直後の状態

バグやセキュリティホールなどが残されたもの

安全とは言えない

バージョンアップや環境・目的に合わせた設定の変更

パッチについて

ソフトウェアに存在するバグなど

ごく一部を変更するだけで解決できることが多い

関連する全ソフトウェアの再インストールは非効率

ソフトウェアのごく一部を修正する (**patch**)

パッチのコマンド(UNIX)

- **patch < [パッチファイル]**
 - パッチを当てる (修正を加える)
 - 語源はパッチワーク (つなぎ合わせる)
- **diff [file1] [file2]**
 - 二つのファイルの違いを表示する
 - パッチファイルの作成などに使われる。

FTPについて

- **FTPとは**
 - File Transfer Protocolの略
 - 主にファイルの転送に使われるプロトコル
 - 実験ではテキストベースで操作する
 - GUIで操作できるクライアントソフトもある

ftpの操作の流れ

1. FTPクライアントを起動する
2. FTPサーバに接続する
3. ファイルの転送を行う
4. FTPサーバとの接続を切断する

ftpで使用する主なコマンド(1)

- **open [ファイルサーバアドレス]**
 - [ファイルサーバアドレス]に接続する
 - ftp [ファイルサーバアドレス]とも出来る
- **binary (bin)**
 - バイナリモードに移行
 - バイナリデータの転送に用いる
 - テキストデータの場合はasciiモードを用いる

ftpで使用する主なコマンド(2)

- **ls (dir)**
 - CWD(カレントディレクトリ)の内容を表示する
- **close**
 - FTPサーバとの接続を切断する
- **bye / quit / exit**
 - FTPクライアントソフトを終了する

ftpで主に使用するコマンド(3)

- **CWD [ディレクトリ名]**
-指定したディレクトリをカレントディレクトリとする。絶対パスか相対パスが使用できる
- **get [ファイル名]**
-[ファイル名]をダウンロード
- **put [ファイル名]**
-[ファイル名]をアップロード

ftpで主に使用するコマンド(4)

- **mget**
-複数のファイルをダウンロード
- **mput**
-複数のファイルをアップロード
- **prompt**
-mgetやmputの際ファイルの確認の是非を変更

パッケージのインストール方法-Solaris

1. 今回の実験ではFTPを利用してパッケージをダウンロードする
2. pkgaddコマンドを用いてgzipのパッケージをインストールする
3. gzipへのパスを通す
4. その他のパッケージをgzipを用いて解凍し、パッケージをインストールする

パッチのあて方-Solaris

1. FTPでパッチ(2_6Recommended.tar.Z)をダウンロードする
2. gzipでファイルを解凍する(語尾のZが消えていることを確認)
3. tarでファイルを展開する(語尾のtarが消えていることを確認)

パッチのあて方の続き-Solaris

4. moreコマンドを用いてReadme ファイルを読む(インストールなどに関するガイドが書かれているので記述通り実行する)
5. 展開したフォルダに移動し
./install_clusterと入力しパッチをあてる

パッチのあて方-Windows NT

- Windows ではパッチをServicePackとして提供している
- 現在ServicePack3までが適用されているのでServicePack6を適用できるようにする

パッチのあて方続きーWindows NT

1. FTPダウンロードしたフォルダにある ServicePackのパッケージを実行し、パッチをあてる
2. Windows NT用のServicePackをダウンロードする

参考文献

- 平成15年度情報システム工学実験第3 4 ネットワークリテラシー
- <http://x68000.startshop.co.jp/~68user/unix/>
- http://www02.so-net.ne.jp/~oable/okui/unix_howto.html